



山形県感染症発生動向調査

平成30年第15週(4月9日～4月15日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年4月18日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～15週
	第14週	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	9859 2.00	341 7.10	301 6.27	▼	117 5.85	131 6.55	△	41 8.20	24 4.80	▽	131 ◎13.10	104 ◎10.40	▼	52 4.00	42 3.23	▼	15520
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1001 0.32	23 0.77	29 0.97	▲	5 0.38	15 1.15	▲	1 0.33		▽	17 2.83	14 2.33	▽				204
咽頭結膜熱	798 0.25	5 0.17	5 0.17		1 0.08	1 0.08					4 0.67	4 0.67					206
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5887 1.87	59 1.97	74 2.47	△	32 2.46	43 3.31	△	3 1.00	3 1.00		20 3.33	21 3.50	△	4 0.50	7 0.88	△	1821
感染性胃腸炎	13525 4.29	136 4.53	142 4.73	△	55 4.23	62 4.77	▲	27 9.00	27 9.00		21 3.50	21 3.50		33 4.13	32 4.00	▼	1982
水痘	1117 0.35	7 0.23	11 0.37	△	5 0.38	2 0.15	▽				2 0.33	9 1.50	△				186
手足口病	533 0.17	8 0.27	12 0.40	▲	8 0.62	10 0.77	▲		1 0.33	△		1 0.17	△				224
伝染性紅斑	256 0.08	6 0.20	3 0.10	▼	2 0.15	1 0.08	▽				4 0.67	2 0.33	▼				66
突発性発しん	1337 0.42	12 0.40	19 0.63	▲	4 0.31	5 0.38	▲		1 0.33	△	5 0.83	8 1.33	△	3 0.38	5 0.63	▲	199
ヘルパンギーナ	60 0.02	1 0.03	3 0.10	△	1 0.08	3 0.23	△										29
流行性耳下腺炎	443 0.14	2 0.07	1 0.03	▽								1 0.17	△	2 0.25		▽	40
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	17 0.02																
流行性角結膜炎	506 0.72																14
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	203 0.42		1 0.10	△					1 1.00	△							12
クラミジア肺炎	8 0.02																
マイコプラズマ肺炎	60 0.13	4 0.40		▽	4 1.00		▽										44
細菌性髄膜炎	10 0.02																4
無菌性髄膜炎	10 0.02																2

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2				

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型:235件、B型:61件、不明:5件でした。
 集団発生は、村山地区 3件(幼稚園・保健所:2、小学校:1)、置賜地区 4件(小学校:1、福祉施設:3)でした。
 ※トピックスで、麻しんについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	7	22	32	25	24	17	11	24	19	19	22	8	13	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	10	9	10	11	2	15									301
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	1	14	4	2	4	2		1						29
咽頭結膜熱			2	1		1	1								5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	5	9	8	11	7	6	9	1	9	1	2	74
感染性胃腸炎	2	10	24	29	18	12	6	7	7	2	7	11	1	6	142
水痘			1	1	3	2		1	2		1				11
手足口病			2	4	4	1								1	12
伝染性紅斑						1	1	1							3
突発性発しん		5	12	1	1										19
ヘルパンギーナ				1	1							1			3
流行性耳下腺炎				1											1

< 平成30年3月 月報 >

2018年4月18日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～3月	
	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	19	22	9	4	7	11		2	3	5	60
	定点当り	1.90	2.20	2.25	1.00	7.00	11.00		1.00	1.00	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	11	8	1	2	4	2	3	3	3	1	28
	定点当り	1.10	0.80	0.25	0.50	4.00	2.00	1.50	1.50	1.00	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1				1	1	1	8
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25				0.50	0.33	0.33	
淋菌感染症	報告数		4		1						3	7
	定点当り		0.40		0.25						1.00	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	9			1	2	2	2	3	5	18
	定点当り	0.60	0.90			1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	21	5	13		1	2	1	6	6	54
	定点当り	1.30	2.10	1.25	3.25		1.00	1.00	0.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

< トピックス >

麻しんについて～早めのワクチン接種を！～

麻しんは、麻しんウイルスに感染することによっておこる、急性の熱性発疹性疾患です。日本では近年報告数が減少し、2015年3月に世界保健機関(WHO)より麻しんの排除状態であると認められました。しかし、アジアやヨーロッパ等の様々な地域では現在も継続して流行がみられ、海外で麻しんウイルスに感染し、帰国した方を発端とした感染拡大が、国内各地で発生しています。昨年は、山形県でも海外旅行後に麻しんを発症した方を発端とした集団発生がありました。また、現在沖縄県では海外からの旅行者を発端とした集団発生がおこっており、未だ終息には至っていません。

麻しんとは

麻しんは、感染力が極めて強く、麻しんの免疫のない集団に1人の発症者がいると、12～14人の人が感染するとされています(インフルエンザは1～2人)。麻しんに免疫のない方が感染すると発熱、風邪様症状(咳、鼻水)、発疹などの典型的な麻しんの症状が現れます。肺炎などの合併症を起こすことも多いため、注意が必要です。

- ・感染経路: 空気感染、飛沫感染、接触感染
 - ・潜伏期間: 7～14日程度
 - ・主な症状: 発熱、風邪様症状(咳、鼻水)、
発疹(赤いぶつぶつ)、
目の充血、目やに
- ※合併症として、肺炎、脳炎
亜急性硬化性全脳炎



写真: 顔面にみられる発疹 (国立感染症研究所HPより)

麻しんにかからないために

一度、典型的な麻しんを発症した人は、通常生涯にわたる免疫を得ますので、再び麻しんを発症することはありません。

麻しんにかかったことのない方は、ワクチン接種を受けることが最も重要です。麻しんは空気感染するため、手洗いやマスクの着用では予防することができません。

麻しんに対する予防接種は、2回接種が必要です。定期接種のスケジュールは、下記のとおりです。(定期接種対象者以外の方も、有料の任意接種として接種が可能です。)

【麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)接種時期】

- ・第1期: 1歳児
- ・第2期: 小学校入学前の1年間

山形県の麻しん風しんワクチン接種状況

2016年度の麻しん風しんワクチン第2期定期接種対象者のうち、ワクチン接種を受けられた方は96.6%でした(※)。

※厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター調べ

はしかにならない! はしかにさせない! ために

麻しん風しんワクチンを受けましょう。
1歳児と、年長さん(小学校入学前の1年間)は、
忘れずに定期接種を受けましょう。

《参考URL: 国立感染症研究所 麻しん <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>》